



会議通知の設定

会議通知の設定のウィンドウを使用して、会議通知機能を設定します。会議通知を Cisco IP Phone Messenger と連携することにより、ユーザの Cisco Unified IP Phone に Microsoft Outlook の会議の招待状を送信できます。

会議通知の設定値の設定

会議通知の設定値を設定するには、次の手順に従います。

手順

-
- ステップ 1** [アプリケーション] > [会議通知] > [設定] の順に選択します。
- [会議通知の設定 (Meeting Notification Settings)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 表 37-1 の説明に従って適切な設定を入力します。
- ステップ 3** データを保存するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします)。
-

表 37-1 会議通知の設定値

フィールド	説明
MeetingPlace アドレス (MeetingPlace Address)	Cisco MeetingPlace サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
MeetingPlace ポート (MeetingPlace Port)	Cisco MeetingPlace のポート番号を入力します。 デフォルト : 80 (SSL は無効) または 443 (SSL は有効)
信頼証明書件名 CN(Trust Certificate Subject CN)	信頼証明書件名 Common Name を入力します。
[SSL を使用 (Use SSL)] チェックボックス	<p>[SSL を使用 (Use SSL)] チェックボックスをオンにすると、Cisco MeetingPlace との接続でトランスポート レイヤセキュリティ (TLS) を使用するように指定されます。</p> <p> (注) SSL を有効にすると [信頼証明書件名 CN(Trust Certificate Subject CN)] フィールドがアクティブになり、[MeetingPlace ポート (MeetingPlace Port)] フィールドはデフォルトで 443 に指定されます。SSL を無効にすると、[信頼証明書件名 CN(Trust Certificate Subject CN)] フィールドは非アクティブになり、[MeetingPlace ポート (MeetingPlace Port)] フィールドはデフォルトで 80 に指定されます。</p>
[電子メール ID と同じユーザ ID] チェックボックス	[電子メール ID と同じユーザ ID] をオンにすると、Cisco Unified Communications Manager と Microsoft Outlook 予定表の両方で同じユーザ ID が指定されます。